

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

事業報告書

(平成 27 年 (2015 年) 4 月 1 日から平成 28 年 (2016 年) 3 月 31 日まで)

事業の総括

2015 年度は、神奈川県が 10 年間直営で実施してきた「かながわコミュニティカレッジ」の運営主体を民間委託することが決まり、初年度の運営事務局として当団体がコミュニティカレッジの運営業務を担いました。年間計 37 本（県主催講座、連携講座、公開講座）の講座運営に携わるため、職員を雇用するなど団体としての組織基盤の強化にも力を入れました。2012 年度より受託してきた「アドバイザー相談事業」では、当団体アドバイザーが定期的な事例共有会議を行い、また、県内の他支援施設職員をインターンで受入れるなど、相談対応力の向上に努めてきました。また、専門家や他の支援組織と連携し、相談事案の多様化・専門化に対応できるよう体制を整えています。

さらに、当団体の自主事業の展開を支えるため、寄付募集活動にも臨みました。公益財団法人かながわ生き生き市民基金の「事業指定プログラム エラベル」に指定され、若者の地域への関心を高めるための学習の場づくりのために市民の寄付を集めました。目標の 20 万円を超える寄付が集まり、この活動は 2016 年度に「若者ソーシャルカフェ in 神奈川」として実現する予定です。

他方、当団体が大事な活動として掲げる「多様な主体による連携・協働」に向けた取り組みについては、上記の新業務への対応に労力を要したため、例年と比べ活動の幅を広げることができませんでした。2016 年度は、既存の事業活動も安定してきたことから、再度原点に立ち返り、地域・社会への貢献に関心を寄せる企業・事業者・大学等の方々との接点やネットワークづくりに力を入れ、県域の中間支援組織として様々な主体との信頼関係を築き、事業協力・協働の動きを加速させてまいります。

1 多様な主体による対話と協働の場づくり

(1) NPO・企業・大学等のパートナーシップ支援

神奈川県では、NPO や企業、大学など、多様な主体が協働・連携し、複雑・多様化する地域課題の解決を図る社会づくりが始まっています。

当団体は 2008 年の団体発足時より、県が推進する「NPO と企業等の協働」に向けた各種事業の企画や運営・広報などに協力し、多様な主体による協働・連携を進める環境づくりに貢献してきました。

2015 年度は、パートナーシップミーティングの運営方法について提案するほか、ミーティングに参加する企業・NPO 等からの相談対応を行いました。

【コーディネーター・相談員を派遣した会合実績】

- 「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング in 横浜(2015)」
(2015年6月11日、みなとみらい Innovation & Future Center)
＜運営協力＞
- 「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング in 湘南(2015)」
(2015年8月21日、ひらつか市民活動センター)
＜相談員1名派遣＞
- 「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング in 横須賀三浦(2015)」
(2015年9月28日、県立保健福祉大学)
＜相談員1名派遣＞
- 「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング in 県央 (2015)」
(2015年10月29日、ソレイユさがみ)
＜相談員1名派遣＞
- 「パートナーシップミーティング成果共有会」
(2016年3月18日、横浜市開港記念会館)
＜講師派遣＞

(2) 市民団体・民間非営利組織（NPO）の協働力の向上

地域の様々な課題解決に向け、市民団体・NPOが活動基盤を強化し、他の主体と協働・連携して活動に取り組む力をつけるための支援事業を行いました。

(1)アドバイザー相談事業（かながわ県民活動サポートセンターと協働事業）

○県民センター9階「アドバイザー相談コーナー」での相談対応

かながわ県民活動サポートセンター「アドバイザー相談コーナー」にアドバイザーを配置し、2015年4月1日から2016年3月31日まで、毎週火曜～土曜の12時～17時、来訪・電話・メールによる市民、非営利組織、企業の方からの相談に対応しました。内容は、ボランティア情報の提供、NPO法人の設立・運営に関する助言、企業の社会貢献活動に対する助言など多岐に亘ります。＜年間相談対応件数 517件＞

○専門相談の実施

2015年度も外部の専門家や支援組織と連携を深め、非営利活動・NPO法人向けに様々なテーマでの専門・特別相談会を開催しました。また、当団体アドバイザーによる相談会メニューを充実させ、企業の社会貢献相談も例年に引き続き開設しました。専門・特別相談の対応は年間45件（後述の出張相談件数を含む）でした。下記は今年度実施した専門・特別相談テーマです。

- ・ NPO法人設立・運営
- ・ 事業計画・資金計画（協力：日本政策金融公庫）
- ・ NPO会計・税務（協力：NPO法人税理士による公益活動サポートセンター）
- ・ NPO経営・事業計画（協力：中小企業診断士）
- ・ 資金調達・獲得（協力：ファンドレイジング・ラボ）
- ・ 助成金申請

- ・ 認定 NPO 法人
- ・ NPO と企業連携
- ・ 企業の社会貢献

○県内出張相談の実施

相談対応の一環として、アドバイザーが県内各地へ出張し、市町支援施設と連携して市民団体向けの個別相談会を設けました。

- ・ 2015 年 9 月 25 日 愛川町（あいかわ町民活動サポートセンター）
- ・ 2015 年 10 月 20 日 伊勢原市（いせはら市民活動サポートセンター）
- ・ 2016 年 1 月 27 日 小田原市（おだわら市民交流センター）

○支援センター職員のインターン受入れ

県内の市民活動支援施設における相談対応力向上をめざし、希望する支援施設・団体より、かながわ県民活動サポートセンターの相談コーナーに職員インターンを受け入れました。（年間で 5 施設から計 13 名の職員を受入。）実際の相談対応の場に陪席し、さらに当団体のアドバイザーと様々な情報交換をすることで、相談対応業務の実例を学んでいただきました。

(2)ソーシャルビジネスセミナーの協働開催（日本政策金融公庫・県との協働）

NPO 法人を立ち上げるなど、持続性のある社会的事業（ソーシャルビジネス）を運営したいと考えている方を対象にしたソーシャルビジネスセミナーを、日本政策金融公庫、神奈川県（NPO 協働推進課）と三者連携で開催しました。参加者アンケートで 9 割以上の方から「非常に役に立った」「役に立った」との回答を得ました。

- ・ タイトル：NPO 法人向けソーシャルビジネスセミナー
- ・ 日 時：2016 年 2 月 10 日（水）14 時~17 時
- ・ 場 所：日本政策金融公庫 横浜支店会議室
- ・ 参加者：29 名
- ・ プログラム：
 - 基調講演①「ソーシャルビジネス・イノベーション」
山岡 義卓氏（神奈川大学経営学部国際経営学科 准教授）
 - 基調講演②「ソーシャルビジネス成功のポイント」
和賀 康子氏（NPO 法人フーズマイルぐりぐら 代表）
 - 施策紹介、日本政策金融公庫による個別相談会

(3)県域の中間支援組織としての仲介活動・提案活動

県域の中間支援組織として、外部資源を県内の非営利組織につなぐ役割を担いました。具体的には、認定 NPO 法人日本 NPO センターの依頼を受け、「明治ホールディングス株式会社株主優待（お菓子）」の寄贈先として「障がいのある子どもを支援する活動」または「広域避難者を支援する活動」を県内でおこなっている 7 団体を推薦し、同団体にお菓子が届く手配を支援しました。

(4)講師・委員の派遣

自治体や各地の支援組織、NPO などの依頼に応じてセミナー・研修会等への講師派遣を行いました。

【講師・委員など派遣実績】

- ・ 川崎市指定 NPO 法人審査会委員（2014 年 9 月～、藤枝）
- ・ 国分寺市協働事業審査会委員（2013 年 6 月～、藤枝）
- ・ 環境学習リーダー養成講座「市民活動とは」（神奈川県環境科学センター）（2015 年 10 月、手塚）
- ・ 横浜市栄区施設交流会コーディネーターの派遣（2016 年 2 月、葉石）
- ・ 基金 21 対象団体へのメンター派遣(NPO 法人コス援護会)(2016 年 3 月、藤枝、阪口)

2 市民や企業による寄付・社会貢献活動への参加促進

(1)かながわコミュニティカレッジ事務局の運営

かながわコミュニティカレッジは神奈川県が開設する、地域で活動する県民のための「学びの場」です。ボランティアや NPO など、地域課題の解決や地域の活性化に向けた活動に取り組む人づくりを支えています。当団体は、「平成 27 年度かながわコミュニティカレッジ運営業務」をかながわ県民活動サポートセンターより受託し、コミュニティカレッジの事務局を運営しました。当団体直営講座を含め、年間計 37 本の講座運営の調整・支援、受講生の活動支援などを行い、様々なテーマでボランティアや NPO 等の活動を行う個人・団体を支援しました。

【コミカレ講座のうち当団体が企画運営した講座】

	講座名称【実施団体／協力団体】	開催日程	受講者数
県主催	NPO 次世代リーダー研修講座 【ソーシャルコーディネートかながわ】	8/26～10/14 (全 5 回)	7
公開講座	一歩先行くライフ・デザイン～自分に合った地域とのかかわり方～ 【ソーシャルコーディネートかながわ】	9/19	100
県主催	NPO マネジメント講座（NPO 会計の基本を学ぶ） 【ソーシャルコーディネートかながわ／NPO 法人税理士のための公益活動サポートセンター】	10/1～10/29 (全 5 回)	27
県主催	市民が担う教育のみらい～地域の子どもの教育にかかわる活動講座 【ソーシャルコーディネートかながわ／NPO 法人まちと学校のみらい】	11/6～11/20 (全 3 回)	16
県主催	NPO マネジメント講座（ボランティアコーディネートの基本と実践） 【ソーシャルコーディネートかながわ／認定 NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会】	11/1～12/2 (全 4 回)	14
県主催	NPO 広報発信力強化のための講座 【ソーシャルコーディネートかながわ／株式会社ファンドレックス】	11/26	10

県主催	市民活動スタートアップ講座 【ソーシャルコーディネートかながわ】	12/3～2/4 (全8回)	14
連携 講座	NPO 法人のための事務力アップ講座 【ソーシャルコーディネートかながわ/NPO 法人岡山 NPO センター】	12/10	31
県主催	地域社会に貢献するためにつながる～企業×NPO 協働 コーディネート入門講座 【ソーシャルコーディネートかながわ】	2/2～2/16 (全3回)	23
県主催	地域で高齢者を支える～回想法と共に学ぶ地域サロン運 営講座 【ソーシャルコーディネートかながわ/回想法プランニング】	2/3～3/2 (全4回)	45

(2)若者ソーシャルカフェの開催に向けた寄付募集活動

これからの社会を創り拓いていく若者たちに、自分たちが暮らす地域や社会とつながりを持ち、そこにある課題に気づき、他者との関わり合いのなかで、社会をよりよいものに変えていける力をつけてほしいという願いから、公益財団法人かながわ生き生き市民基金の「事業指定プログラム エラベル」を通じて市民から寄付を集め、市民講座の開催準備を行いました。寄付募集は目標の20万円を集めることができ、次年度に開催する「若者ソーシャルカフェ in 神奈川」の企画準備や当日運営に充てる予定です。

(3)かながわNPO映像祭への出展

第7回かながわNPO映像祭（2016年2月14日開催）に出展する作品として、当団体のPR映像を産業能率大学柴田ゼミ2年生6名のチームが担当してくれました。出展作品は映像祭に入選し、当日会場にて放映されました。残念ながら優秀賞には選ばれませんでした。当団体の活動を若い人にも関心を持ってもらえるよう工夫した内容の映像作品を作ってもらいました。

以上